



だいこん



発行日：令和7年11月10日

1. 卸売価格の動向

○110円/kg (11月6日)

➢ 年比：133%

○11月の価格見通し

平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○256円/kg

(10月10日全国平均)

➢ 前月比：97%、年比：119%

➢ 東京：273円 (1本)

➢ 大阪：271円 (1本)

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：6/20 (前月4/20)

➢ 大阪：3/10 (前月2/10)
(機構調べ)

3. 家計消費動向

○242g/人 (9月全国平均)

➢ 前月比：134%

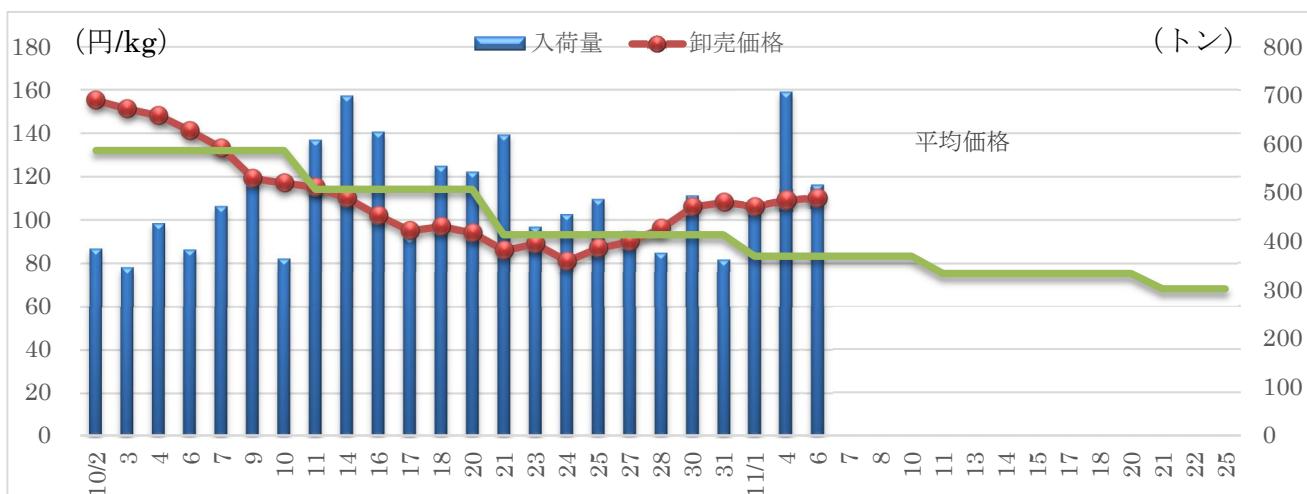
➢ 前年同月比：111%

○3,415g/人 (2024年年間)

➢ 前年比：96%

(総務省統計局家計調査)

4. だいこんの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



5. だいこんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

产地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県おいらせ (8/19)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
石川県JA金沢市 (10/21)	減少	平年並み	平年並み	遅い
福井県坂井市 (10/20)	減少	やや不良	平年並み	-
和歌山県和歌山 (10/23)	前年並み	平年並み	平年並み	-
徳島県里浦 (9/24)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。（ ）内は調査日。

（機構調べ）



和歌山県和歌山：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報（11/8～12/5）

週別の天候				
11/8～11/14 北日本日本海側では、寒気の影響で、半年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東日本太平洋側では、半年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、半年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、半年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、潮った空気の影響により、半年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。				
11/15～11/21 北日本日本海側では、寒気の影響を受けてく、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北・東日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響を受けにくいため、半年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、半年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。				
11/22～12/5 北日本日本海側では、寒気の影響を受けてく、半年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北日本太平洋側では、半年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響を受けにくいため、半年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 東日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、半年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。				
週	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）	
北日本	日本海側 低30並40高30% ほぼ平年並の見込み	少40並40多20% 平年並か少ない見込み	少20並40多40% 平年並か多い見込み	
東日本	日本海側 低20並40高40% 平年並が高い見込み	少40並30多30% ほぼ平年並の見込み	少20並30多50% 多い見込み	
西日本	日本海側 低20並30高50% 高い見込み	少50並30多20% 平年並か少ない見込み	少10並30多60% 多い見込み	
	太平洋側	少40並40多20% 少ない見込み	少20並30多50% 多い見込み	
		少40並40多20% 平年並か少ない見込み	少10並30多60% 多い見込み	

（気象庁 1カ月予報）

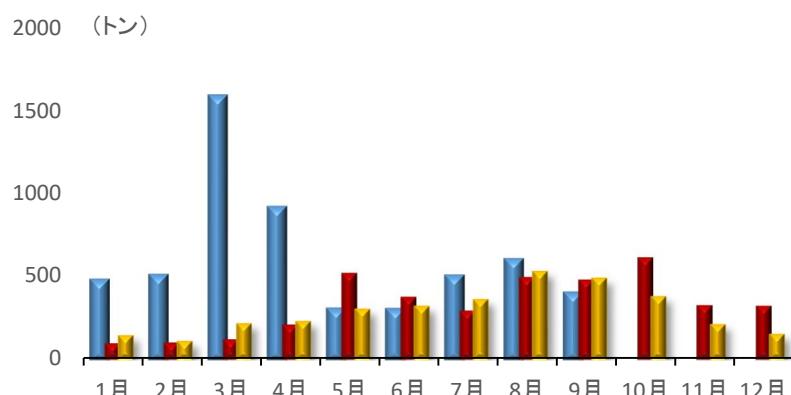
8. 輸入動向（生鮮その他根菜類）※にんじん・かぶ・ごぼうは除く

○382トン（9月輸入量）

➤ 前年同月比：82%

○輸入先国ベスト3

- | | |
|---------|-------|
| 1位 中国 | 364トン |
| 2位 オランダ | 11トン |
| 3位 豪州 | 4トン |
- （財務省貿易統計）



9. 一口メモ

10月は、千葉産は高温の影響で播種が遅れ下旬にピークとなった。北海道産は出荷終了となり、価格は中下旬は平年を下回ったが、下旬以降は北日本産地の減量で不足感から上昇した。

11月は、関東産地からの入荷が増え、出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793